

【アクロスレインボーコンサート in あかむら (No. 2) プログラム】

1 シューベルト「アヴェ・マリエ」

2 グノー「アヴェ・マリエ」

3 カッチーニ「アヴェ・マリエ」

※3人の作曲家によるアヴェ・マリエ（ラテン語で「こんにちは、マリア」や「おめでとう、マリア」を意味し、キリスト教では聖母マリアへのお祈りをあらわします。）

4 原田源一郎（編曲）「ふるさとの四季」

5 ラベル（岡本眞編曲）「ボレロ」

※「ボレロ」とはスペインの伝統舞曲でテンポの速い3拍子が特徴の音楽スタイルです。

【出演者紹介】



安部あゆみ プロフィール／フルート

中村学園女子高等学校、福岡女子短期大学音楽科卒業。桐朋学園大学ソリストディプロマコースを経て、現在、ソロ、室内楽、オーケストラを中心に演奏活動を行っている。野口龍、石田光江、許斐恭子、増永弘昭の各氏に師事。第39回西日本新人紹介演奏会に出演。第9回日本クラシック音楽コンクール全国大会一般の部フルート部門入選。福岡サロンオーケストラ、フルートオーケストラ“ハーモニーウィングズ”メンバー。クレモナ楽器 Vibrate コースフルート講師。



田中美江（たなか よしえ）プロフィール／ピアノ

福岡市出身。桐朋学園女子高等学校附属高校音楽科を経て桐朋学園大学音楽科、旧西ドイツのデットモルト音楽大学で学ぶ。その間、中村順子、末永博子、徳丸聡子、斎藤秀雄、F・W・シュヌア各氏に師事。その間、第20回全日本学生音楽コンクール（西部大会）第1位入賞。第1回ブラームス国際音楽コンクール二重奏部門で最優秀賞受賞。1982年に首席で卒業後、1983年帰国。

ミュージックステーション福岡を設立し、福岡を中心に音楽活動始める。九州交響楽団などのオーケストラ、また様々なアーティストと共演するなど、自らの演奏活動のほか、色々なコンクールの審査も手がけ、後進の指導やコンサート企画にも力を注いでいる。現在は、純真短期大学教授。



原田純（はらだじゅん）／ファゴット

1984年、国立音楽大学器楽科卒業。同年、オーストリア、ウィーン市立音楽院に留学。ミヒャエル・ヴェルバ氏（ウィーン・フィル奏者）に師事。リンツ・ユージェントオーケストラ（指揮：フランツ・ヴェルザーメスト）に参加。1989年、ウィーン市立音楽院にてディプロマを取得し卒業。その後、スイス、バーゼルにてバロック・ファゴットをクロード・ヴァスマー氏に師事。1995年、パリ市立音楽院に入学。バロック・バスロンをジャン・ルイ・ファイアット氏に師事。クリフ・ルセ指揮、レ・タラン・リリック等のオーケストラに参加し演奏活動をする。これまでに、ウィーン、ムジークフェライン、ヴェルサイユ宮殿、シャトレ劇場、パリ・オペラ座、オペラ・コミック等の演奏会に出演。

2004年帰国。現在、福岡バッハコレギウムなどに参加。太宰府市在住。



岡本眞（おかもと しん）プロフィール／オーボエ

福岡市出身。福岡県立筑紫丘高校、桐朋学園大学音楽学部卒業。東京文化会館でデビュー後、米国ニューヨーク・ジュリアード音楽院へ奨学生として留学。ニューヨーク・フィロムジカのメンバーとしてサラトガ音楽祭、ベートーヴェン・フェスティバル等に参加、ニューヨーク；カウフマンホールでリサイタル、N.Y.Y.M.H.A オーケストラとモーツァルトの協奏曲を共演。国内外でリサイタル、オーケストラとの共演等ソロ・室内楽活動を展開する。ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブルの米国と日本ツアー、ジャズグループ Manhattan Graffiti Four の日本ツアーに参加。福岡バッハコレギウムと多くのバロックと古典のオーボエ、オーボエダモーレ協奏曲を共演。近年はフルートとオーボエ、オーボエダモーレのダブルプレイヤー（ダブル）としてもクラシック・ジャズ等、広いジャンルで演奏活動を展開中。福岡女子短期大学音楽科・大分県立芸術文化短期大学講師を経て、現在、ミルバーン・アンサンブル主宰、福岡バッハコレギウム団員、福岡ミュージック音楽院院長、財団法人日本音楽文化創造・生涯学習音楽指導者、日本フルート協会全国常任理事、同協会九州部会事務局長。